

育ちの芽

副園長 奥村 綾

☆たなばた遊び☆ 7月6日(月)・7日(火)

7月7日は『たなばた』の日。

6日(月)の朝、幼稚園に大きな笹や小さな笹が届きます。園庭やピロティには、吹き流しや笹を飾り、笹飾りや短冊など思い思いの物を飾ったり、盆踊りをしたりして過ごします。

また、先生達による『たなばたさま』の劇を見て、みんなで星探しをして星を集め、天の川を作ります。

♪現在の子ども達の様子♪

幼稚園では、遊びの中から育つ『非認知能力』(想像力・創意工夫する力・探求心や表現力・協調性・思いやり・意欲・積極性・根気など)を大切に保育しています。

6月からスタートした今年度ですが、『育ちの芽 16号』でもお伝えしたとおり、今子ども達はさまざまな遊びに夢中になっています。

少しの雨が降っていても気にせず、園庭の水たまりに長靴で入ったり、中には裸足になって気持ちよさそうに遊ぶ子もいます。テントから落ちてくる雨粒がどれくらい溜まるか入れ物に集めたり、どうすればうまく段ボールを切れるか考えたり、えのぐが混ざると何色になるか試したり、鉄棒や大縄、一輪車に挑戦したり、その日その日で新しい遊びを発見したり、今自分がしたいことを見つけて遊んでいます。

例年、この時期になると、一つの遊びに集中して遊び込む姿や、自分達で遊びを発展させていく姿が見られます。また各クラス話し合いが盛んに行われ、行事のことや取り組みたいことなども子ども主体で進んでいきますが、今年度は、まだ、新年度がスタートしたばかりということと、『密を避ける』という点において、話し合いができない状況です。そんな中、先生達はさまざまな工夫をし、年長組では、『発言ボード』という一人ひとりの顔写真を貼ったボードに、子ども達から出た意見を書き込み、他の子に伝える方法を取り入れています。年中組では、生き物(くわがた、かたつむり)の名前を話し合って決めることができないため、募集方式で、子どもから出た名前を画用紙に書いていきます。

『たなばた』に関して、子ども達が、由来を調べたり、自分たちでどんなことをしたいか考えたりして、子ども発信で進めていきたいところですが、まだまだいろいろな遊びに興味をもつこの時期を大切にしていきたいと考え、今年度の『たなばた』は、先生が環境を整えて園内を飾り、子ども達が楽しめるよう『たなばた』の雰囲気作りをすることにしました。

6・7日のうきうきタイム中に、笹飾りや短冊のコーナーを設定します。『たなばた』に興味を示さないこともあると思いますが、子どもの興味・関心を一番に考え、今夢中になっている遊びを大切にしていきたいと思います。

例年、全員笹を持ち帰っていただいています。今年度は、短冊やこよりの和紙、飾りの色紙なども持ち帰っていただき、ご家庭でも、子ども達と『たなばた』をお楽しみいただければと思います。

◎笹は園児1人につき1本用意しています。6日の降園時に、クラス前に置いてある笹を受け取り、1本ずつお持ち帰りください。

ホーム・のびのびの方は、お迎えの際に、園庭側の保育園前に置いてありますので、職員に声を掛けて1本ずつお持ち帰りください。

※笹の持ち帰りを希望されない方は、お申し出ください。

※子どもが持つと目に刺さったりして危険ですので、必ず保護者がお持ちください。

◎短冊やこよりの和紙、飾りの色紙なども、各保育室前やピロティに用意していますので、ご自由にお持ち帰りください。

◎こよりの作り方の見本はピロティに掲示し、配信もします。

☆たなばたに笹(竹笹)を飾るのはなぜ??

竹は冬の寒さにも負けず、真っ直ぐ育つ生命力が備わっていることから、昔から神聖な力が宿っていると信じられており、あらゆる神事に使われていました。

☆短冊の5色の由来とは?☆

七夕は中国から伝わった乞巧奠(きっこうでん)という行事がベースとなっています。そのため短冊の色も中国のある思想の影響を受けています。その思想というのが「陰陽五行説」です。

陰陽五行説とは・・・

宇宙に存在するすべてのものは5つの元素(木・火・土・金・水)からできているという思想です。五行はあらゆる物や事象などにあてはめられています。

もちろん『色』にも五行はあてはめられていて、それを五色(青・赤・黄・白・黒)といいます。このほかにも・・・五行には、孔子(需教の思想家)が説いた、人として正しく生きるための五徳(仁・礼・信・義・智)というものがあてはめられています。

五行	五色	五徳	五徳の意味
木	青	仁	人間力の向上
火	赤	礼	両親や祖先への感謝
土	黄	信	友達を大切にする
金	白	義	規則を守る
水	黒	智	学業の向上